

PBL II-36 和紙、漉きの研究講座／Project Based Learning II

担当教員／Instructor 日本画教員, 真下 八十雄, 千々岩 修

対象学年／Eligible grade - 開講学期／Semester 2021年度／Academic Year 通年／One-Year

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PB36 単位数／Credits 2

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

【授業のねらい／Course Objectives】

前期：手漉き和紙の技術の習得。様々な素材の混合による材料の研究。
後期：前期で修得した技術と知識を基にした、新しい和紙の創作と探究。

【到達目標／Course Goals】

和紙を漉く技術を習得すること。また、和紙を創作に活かすこと。

【授業の展開計画／Class schedule】

前期

1 ガイダンス

紙漉き工房、器材の紹介、漉きの体験

2 講義

紙漉きについての講義、ファイルの配布、説明

3 紙漉きの基礎①

4 紙漉きの基礎②

5 紙漉きの基礎③

材料の仕込み、漉き、干しの一連の工程を行う。紙漉きの基礎的な技術を学ぶ。(3～5週)

6 材料の研究①

7 材料の研究②

竹、三椶の仕込み、三椶と楮を用いて混合紙を漉く(6～7週)

8 漉き方の研究① 厚物の和紙を漉く(練習)

9 漉き方の研究② 厚物の和紙を漉く(本番)

10 漉き方の研究③ 薄物の和紙を漉く(練習)

11 漉き方の研究④ 薄物の和紙を漉く(本番)

12 紙漉きの応用①

13 まとめ

授業のまとめ、漉いた紙をまとめたファイルの提出

後期

1 ガイダンス

授業の説明と材料の仕込み

2 素材の研究①

3 素材の研究②

4 素材の研究③

5 素材の研究④

6 素材の研究⑤

楮や三椶といった素材に加え、竹等の繊維を混合しながら新しい紙を作ることを実践する。(2～6週)

7 作品制作ガイダンス

一年のまとめとして、和紙を使用した作品を各自制作。

8 作品制作①

9 作品制作②

10 作品制作③

11 作品制作④

12 作品制作⑤

13 作品制作⑥

14 作品制作⑦

授業を通して得た経験を元に、目的に応じた紙を漉く。(8～14週)

15 まとめ

作品提出

【履修上の注意事項／Notices】

材料費として3000円程度かかります

【評価方法／Evaluation】

授業態度60%、成果物40%

【テキスト／Textbooks】

【参考文献／Bibliography】

【準備事項／Preparation】